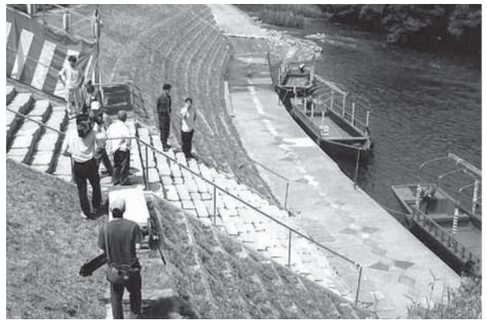
ホタルの光が飛び交う地域の憩いの場を目指して

現在、多くの町で、自分たちが住む町を自分たちで良くしていく『自分がやりたい』あるいは『自分ができる』まちづくり活動に取り組む人や団体が増えています。個人、ボランティアグループ、NPOなど形は様々ですが、『一人でも多くの人が、まちづくりを自分の問題として考え、自分にできることから実際に取り組んでみる』ことが、実は町を変える一番のパワーになるということに、多くの人が気づき始めています。町のために「自分にもできること」をお考えのあなた。ぜひわが町のリーダーとなって、川根本町を良くしていきましょう。

今号では「ときどんの池ホタルを育てる会（徳山　代表：橋本務さん）」の活動実績についてご紹介します。

本庁企画環境課
まちづくり係
電話（56）2221

ときどんの池ホタルを育てる会の皆さん



観光ホタル舟の視察

第40回全国ホタル研究大会
「鳥取大会」参加報告
平成19年6月15日～17日

ときどんの池にホタルを育てる会は、徳山地区ときどんの池にホタルを甦らせようと、ホタルの人工飼育や環境保護に関心を持っている人たちで構成するグループです。

発足して10年余り経過し、自然繁殖地の観察調査など研修を行い、恒久的な生態系保存の確立に向け、日々努力しています。

さて、今回参加した「全国ホタル研究大会」は、全国各地のホタル保護団体が集い開催される催しで、今年は鳥取市上町を会場に行われました。

上町の樗谿（おうちだに）公園の樗谿川では30年以上前から住民有志がホタルの放流活動に取り組み、現在は市民団体「樗谿ホタルの会」が幼虫の養殖や餌付けなどの管理を続けています。

同公園ではゲンジボタル、ヘイケボタルのほか、全国的にも珍しい陸生のヒメボタルが確認されています。例年、6月初旬から下旬まで見頃を迎え、ホタル観賞会などを開催しています。

大会が行われた当日は、ちょうど最盛期を迎え、多くの観光客や市民を楽しませており、特に今年は、昨年の暖冬に加えて台風による被害がなかったことで一晩におよそ約3、000匹のホタルが乱舞（例年だと一晩に約700匹）するなど大盛況のもと大会が行なわれました。

大会は「新しい時代を迎えたホタル環境」をテーマに、ゲンジボタル幼虫の飼育や、専門家による地域固有の生態系の保護について記念講演、研究発表が行われました。

鳥取ルーテル幼稚園の発表では産卵から幼虫の飼育など、長期間にわたり園児みんなで力を合わせて頑張ったことは、生命の尊さと、物の見方と考え方の芽生えを養ううえで基礎となる経験であったと発表し、この大会のためにホタルの歌を作詞・作曲し、素晴しいメロディーに合わせ合唱が発表され、メンバー一堂感動を覚えました。

久松小学校の「樗谿のホタルとわたしたち」の発表は、幼虫の飼育に頑張ってきたが、体育大会の練習と日程が重なり、ホタルの面倒をみれなかったことは、生き物に対する非情の行動であったと反省し、涙ながらに発表したことで生命の大切さの勉強だったと発表されました。

やはり子どもたちに対して、生き物と暮らすことを、自然の原則として取り入れることは大切だと痛感しました。

なお、鳥取市長をはじめ各関係団体が一つの行事に協力しあうことによって、その地域が明るく見える素晴しさを勉強させていただきました。

本会もこの研修で学んだことを教訓に、これからも末永い活動を続け、ホタルの飛翔を絶やさないため、鋭意活動を続けていこうと考えています。

代表　橋本　務

榛北地区で初の古民家を活用した心やすまるデイサービスです。

デイサービス　かわね（川音）　（いつでも見学できます）
川根本町下長尾262（下長尾駐在所横）　TEL:58-6511（ローゴイイ）

徳山地区の憩いの場所　ときどんの池　水車と噴水が涼しさを演出しています　ゆっくり休憩もできます

ときどんの池ホタル情報
今年は3月4日に幼虫を400匹放流。来年も数百匹放流予定です。
ホタル観賞時期　例年5月下旬より6月下旬（夜8時頃より）
連絡先　西原弘　電話（57）2515

集めてお得！集めて楽しい！
HSシール　ぜひご参加ください！
本川根サービス店会
川根本町千頭1216-21　電話 59-2258

-----平成19年度本川根サービス店会事業予定----------
◆東京ディズニーランド　8月21日（火）募集人員：40人
◆東京宝塚　10月実施予定　募集人員：25人
◆グラウンドゴルフ大会　10月実施予定　募集人員：100人
◆商品券交換会　11月17日（土）
◆シール3倍サービス　中元大売り出し・歳末大売り出し（年2回）
各事業についてのお問い合わせは「本川根サービス店会」まで